



つな
海部郡の誇りを繋ぐ
(第62回 徳島駅伝)

美波町 議公報

| | |
|----------------------------|----|
| 12月定例会の審議 | 2 |
| 第1・2回臨時会の審議 | 6 |
| 一般質問 | 9 |
| 議会だより報告会 | 16 |
| 「あの答弁、ほのあとどないなっとな!？」 | 18 |
| 視察・住民から一言 | 19 |
| 頑張る人!! | 20 |

第39号

平成27年12月定例会



議員発議の公告式条例、否決

12月議会の概要

平成 27 年 12 月議会は、平成 27 年 12 月 7 日から 12 月 11 日まで 5 日間開催した。
影治町長より 9 月議会以降の町政の進捗状況及び今定例会に提案されている、条例案 7 件、補正予算案 6 件、人事案 1 件について提案理由の説明があり、議員より「公告式条例の一部を改正する条例の制定について」の提案があった。

議案審議

◆ 発議第 5 号 美波町公告式条例の一部改正

提案者 戎野議員
賛成者 北山議員

永本議員
中川議員

● 提案説明 戎野議員

公告書類を日和佐図書館と由岐公民館図書室及び美波町ホームページで見ることができるようにする理由は、合併時の見直しにより、掲示場所が 31 カ所から 3 カ所（本庁前・由岐支所前・阿部出張所前）に減ったため。また、議会日より報告会で、住民から以前の掲示場所での掲示を求める意見が出たので。

● 議案質疑

○ 北山議員

公告式条例について、合併当時、私の質問に総務課長であった町長が答弁して以後、町長は「町民に情報を知らせたくないのではないか」と思えたが、町長の

考えは。

○ 影治町長

「そんなことはございません」

○ 江本議員

条例の中で規定しなくても、公告書類は欲しいと言えどももらえると思うが。

○ 戎野議員

町のことは公告式条例で定めなければ、知ることができない。掲示場所 31 カ所を集約し少なくなったので、住民に見やすくするため条例の改正を求めた。

○ 寺下議員

ホームページに掲載する場合、時間と経費、手間のかかる部分を教えてもらいたい。

○ 儀野総務企画課長

紙ベースで掲示しているものを、データ化してホームページ上に載せる作業が増える。



役場前掲示板

● 討論

反対 向山議員

改正案の追加 2 カ所は、近くに関覧場所があるので遠隔地にとつて公平に欠ける施策であり、要望があればサービスの一環として置いてもらうかたちでいいと思うので反対する。

賛成 北山議員

町長は「町民に情報を知らせる」という意向を持っている。また、平成 18 年には「ホームページをできるだけ活用する」と答弁している。町がやりたいのに議会が待ったをかけるべきでないと思うので賛成する。

採決結果

賛成少数で否決
(賛成 4 ・ 反対 7)

◆ 議案第 65 号 職員定数条例の一部改正

○ 北山議員

町長部局の 10 人は、どういう人か。

○ 儀野総務企画課長

看護師・事務職員等で、日和佐病院から日和佐診療所へ 10 人のみ移動する。

○ 戎野議員

職員定数と現在の職員数は。

○ 儀野総務企画課長

職員定数条例では 199 人だが、現在の全職員数は 181 人。

美波病院の病室利用料（差額ベッド料）

| 病 室 | 設 備 | 金 額 |
|--------------|------------------------------------|---------|
| 特別室 (1室) | ミニキッチン・トイレ・シャワー・冷蔵庫・ソファベッド・カード式テレビ | 3,500 円 |
| 準特別室 (1室) | トイレ・シャワー・冷蔵庫・ソファベッド・カード式テレビ | 3,000 円 |
| 個室 (12室) | トイレ・冷蔵庫・カード式テレビ | 2,000 円 |
| 4人部屋 (9室) | カード式テレビ | 無 料 |

◆議案第67号 病院設置条例の一部改正

中川議員
病室利用料が高くなった根拠を示せ。

中川議員
橋本特定事業調整監
特別室・準特別室・個室・4床室それぞれ部屋が広くなり、設備も充実させた。近隣の病院を参考に決定した。

◆議案第68号 阿部診療所設置条例の一部改正

中川議員
訪問診療と往診の違いは。

岡本日和佐病院事務長
訪問診療は計画的に行き、往診は要請で行く。

北山議員
日和佐診療所の運営計画が示されていない。近いうちに出すのか。

磯野総務企画課長
運営計画は、後日示したい。

◆議案第69号 医師住宅使用条例の一部改正

戎野議員
使用料の規定はどうなっているのか。

岡本日和佐病院事務長
無料としている。

中川議員
病院から離れているが、宿直できるのか。

岡本由岐病院事務長
病院の宿直は病院内になっている。

◆議案第70号 マイナンバー法に基づく条例の制定

北山議員
「被災者台帳に記録し、薬の手配等に活用する」との説明で、町民の必要とする薬を町が手配してもらえると理解していいのか。

磯野総務企画課長
情報の連携は、平成29年頃でないとできないが、徳島県と使えるようになった場合に備え、国民健康保険加入者のレセプト情報(薬)をマイナンバーで確認し、被災者台帳で整理して誰がどの薬が必要か判断する、先行的な取り組みを考えている。

戎野議員
薬、病名等、自分の情報が、どう利用されたかを見るマイナンバーポータルで確認できるようになれば、履歴を知ることができるのか。

磯野総務企画課長
レセプトに記載されている事項は閲覧可能。マイナンバーポータルでどの程度の情報が使われるかは確認できてない。

寺下議員
本町はコンビニでの住民票の写し交付サービスを導入するのか。

山本住民生活課長
住民票等で、コンビニ交付は、現在考えていない。

舛田議員

特定個人情報を取り扱う端末と、その職員の数は。

磯野総務企画課長

マイナンバーは、主にシステム内での併用となる。紙で扱った場合は厳重に保管。職員数は把握できてないが、総務企画課、税務課、住民生活課、保健福祉課等が取り扱う。

中川議員

適正な取り扱いを確保するために必要な措置は。町

外と情報のやり取りをするメリットは。マイナンバー整備は必要ないと思うかどうか。

磯野総務企画課長

適切な措置は、9月議会
で、個人情報の保護条例を変え非常に厳しい規定になった。職員のマイナンバー取り扱い規定を定める。国の制度で指導もあり、住民の利便性等を上げる趣旨で取り組む。

●討論

反対 中川議員

利便性を強調するが、危険性は無視できない。町は預けてあるから安全だというが、事件・事故が起こるといふことで、マイナンバーは慌てる必要はない。

賛成討論 無し

採 決 結 果

賛成多数で可決
(賛成9・反対2)

◆一般会計補正予算

○北山議員

徳島明日の農林水産業づくり事業の内容は。

○小坂産業振興課長

J A育苗センター(北河内)のビニールハウス建て替え。4棟は稲作、1棟はドクダミ等新しい対策用ハウス。

○北山議員

国土強靱化計画と気象観測システムの説明を。

○近藤消防防災課長

国土強靱化法に基づき、大規模自然災害が発生しても、安全安心な地域社会を構築する計画で、県の指導により他市町村に先駆けて作成する。

気象観測システムは町独自で雨量・風力・風向・気圧が測定できるもの。観測地点を町内の4カ所に設け、雨量を観測する。今回、山間部の通信回線の空きがないところをやり替える。

○寺下議員

社会教育総務費で、監査委員の立場から清算したら318万円不足はおかしい。イベントを全て委託したのか、委託先はどこか。

○住田社会教育課長

コンサート予算内の組み替えて、委託料に回した。委託先に3市町の調整と楽団との調整をお願いする分が、当初の想定より増えた。

イベント会社は、「モウブ」。

○向山議員

田井地区の県単土地改良事業工事の内容は。

○儀野総務企画課長

田井川に病院排水を流すので、田井地区のための改良工事。内容はポンプのやり替え、一部用水路整備。パイプ配管の延長の設計。

◆議案第72号 国民健康保険事業補正予算

○北山議員

過誤納は、国民健康保険から社会保険に変わったのを、町民が分からずに払い過ぎたということか。

○島田保健福祉課長

国民健康保険の喪失手続きをせず別の保険に加入したままで、保険料を引かれながら国民健康保険税の納付を続けていたというケースで8件。

○中川議員

一般被保険者療養給付費

は今までどおりか。

○島田保健福祉課長

療養給付費が低く抑えられたら保険税も安く設定できる。

◆議案第75号 阿部診療所特別会計補正予算

○北山議員

日和佐診療所の診療報酬(国保、社保)は、何人を見込んでいるか。

○岡本日和佐病院事務長

国保と社保の診療報酬は、最近の日和佐病院外来データから、国保1120人、社保200人、合計1320人。

◆議案第76号 病院事業補正予算

○北山議員

後発薬品(ジェネリック)を希望する「希望カード」を美波病院へ持参した場合は、ジェネリック薬品を出さないことはないですね。

○橋本特定事業調整監

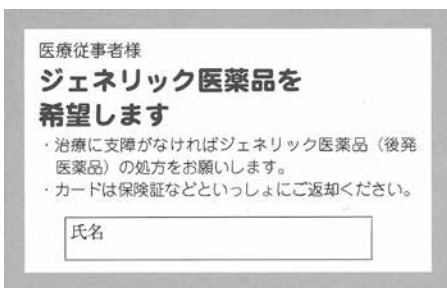
ジェネリックの投薬については医師の診療により薬が決定され、すべての患者への投薬をジェネリックに出来るわけではないので、個々に診療の中で医師と相談をして頂くことが大事と思う。



育苗ハウス建て替え予定地



ジェネリック医薬品希望カード(表面)



ジェネリック医薬品希望カード(裏面)

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

| 議 案 | 議 員 名 | | | | | | | | | | 結 果 | | |
|---------------------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|-------|-------|
| | 舩田 邦人 | ◎岩瀬 公 | 江本 昇 | 北山 朝彦 | 川尻 竹藏 | 松本 晋児 | 永本善次郎 | 寺下 博子 | 戎野 博 | 向山 篤宏 | | 丸龍 孝敏 | 中川 尚毅 |
| 議案第 70 号 マイナンバー法に基づく条例の制定 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 |
| 発議第 5 号 公告式条例一部改正条例の制定 | × | — | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ | 否決 |

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。
採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

| 議 案 | 議 員 | 結 果 |
|---------------------------------|---------|-----|
| 議案第 64 号 税条例の一部改正条例の制定 | 全 会 一 致 | 可 決 |
| 議案第 65 号 職員定数条例の一部改正条例の制定 | | |
| 議案第 66 号 特別会計条例の一部改正条例の制定 | | |
| 議案第 67 号 国民健康保険病院設置条例の一部改正条例の制定 | | |
| 議案第 68 号 阿部診療所設置条例の一部改正条例の制定 | | |
| 議案第 69 号 由岐病院医師住宅使用条例の一部改正条例の制定 | | |
| 議案第 71 号 一般会計補正予算 | | |
| 議案第 72 号 国民健康保険事業補正予算 | | |
| 議案第 73 号 公共下水道事業補正予算 | | |
| 議案第 74 号 介護保険事業補正予算 | | |
| 議案第 75 号 阿部診療所補正予算 | | |
| 議案第 76 号 病院事業補正予算 | | |
| 議案第 77 号 人権擁護委員推薦の意見を求めること | | |

議長の主な活動状況

（平成27年9月定例会～平成27年12月定例会）

| | | | |
|---|--|---|---|
| <p>11月27日</p> <p>11月14日</p> <p>11月14日</p> <p>11月11日</p> <p>11月12日～13日</p> | <p>徳島県町村議長会議長研修 （長野県飯綱町）（山梨県昭和町） 那賀町合併10周年記念式典 未知フォーラム2015 in 牟岐 海部郡・高知県安芸郡議長連合 会要望活動（徳島県庁） 阿南安芸地域高規格道路早期完 成、一般国道55号整備促進</p> | <p>11月11日</p> <p>11月10日</p> <p>11月4日</p> | <p>第59回町村議長会議長全国大会 （東京都） 群馬県桐生市議会来町 サテラ イトオフィスプロジェクト視察 来町 2015秋の自治体キャラバン 動を決議（副議長が対応）</p> |
| <p>10月28日</p> <p>10月4日</p> <p>9月28日</p> | <p>静岡県川根本町議会来町 町の 人口減少対策について視察 四国8の字ネットワーク整備促 進四国東南部連盟総会（安芸市） 四国8の字ネットワークの整備 促進、国道55号等の防災事業や 歩道整備等、現道対策の充実活 動を決議（副議長が対応）</p> | <p>四国四県議長大会（琴平町） じん肺キャラバン来町 静岡県川根本町議会来町 町の 人口減少対策について視察 四国8の字ネットワーク整備促 進四国東南部連盟総会（安芸市） 四国8の字ネットワークの整備 促進、国道55号等の防災事業や 歩道整備等、現道対策の充実活 動を決議（副議長が対応）</p> | <p>来町</p> |

木岐配水池の更新工事(約7,000万円)議決

第1回臨時会の概要

平成27年第1回臨時会は、10月30日に開催。影治町長より木岐配水池更新工事請負契約議案1件の提案があり、審議の結果原案どおり可決した。

契約内容は、金額 6,998万円 相手方 日建工業株式会社
工期 平成28年3月31日

議案質疑

◆議案第63号 木岐配水池更新工事請負契約締結

○松本議員

最近、マンシヨンの不正工事があるが、水道課も管理監督をお願いする。

○中林水道課長

基礎工事から現場に行き監督したい。

○向山議員

断水等で工事中、町民に迷惑をかけないか。

○中林水道課長

配水池の切り替え時に断水するので、迷惑がかからないよう深夜に作業をする。

○戎野議員

更新後の耐用年数と対象地区及び改善効果は。

○中林水道課長

整備するステンレス槽の耐用年数は60年、給水区域は木岐地区限定。地震等で亀裂が生じると危険なので更新する。

◆各議員の賛否(全会一致の議案)◆

| 議案 | 議員(北山議員欠席) | 結果 |
|---------------------|------------|----|
| 議案第63号 木岐配水池請負契約の締結 | 全員賛成(10人) | 可決 |

防災・避難計画、診療所運営計画がないまま、医療保健センター新築工事可決

第2回臨時会の概要

平成27年第2回臨時会は、12月28日に開催。影治町長より、第3回目の入札で成立した医療保健センター(日和佐診療所)新築工事請負契約議案及び西新町3号線改良工事(第1分割)請負契約議案の提案があり、審議の結果原案どおり可決した。

- 契約内容
- 1 医療保健センター新築工事**
金額 14億9,040万円 相手方 東洋建設株式会社 工期 平成29年3月22日
 - 2 西新町3号線改良工事(第1分割)**
金額 4,618万円 相手方 海部土建協業組合
工期 平成28年3月31日(次年度に繰り越し、6月末までに完成予定)

議案質疑

◆議案第78号 医療保健センター新築工事請負契約締結

○永本議員

大津波の場合は、屋上に垂直避難させるというが、火災の場合、屋上の収容人数、ヘリコプターでの救出等々、防災・避難計画はできているのか。

○儀野総務企画課長

火災対策は、耐火構造になっている。屋上面積は300㎡で150人〜300人収容できる。

○影治町長

消防計画は、未策定でこれから作る。

○北山議員

12月議会で、「日和佐診療所の運営計画はあとで出す」との答弁だったがどうなっているのか。

○影治町長

「期日については、申し

上げられないが出させていた
ただく」

○丸龍議員

契約書の中に、工期遅れの違約金はあるか。

○儀野総務企画課長

業者の欠点で、工期等遅れた場合は損害賠償的になるが、通常の業務で仕方ない場合は、工期の延伸が認められている。

○向山議員

今回の入札は、「総合評価一般入札」で東洋建設が落札した。他社は、下回る金額を示したのかどうか。また、東洋建設はどういった面で利便性があったのか。

○儀野総務企画課長

もう一社は、入札金額で300万円安く入れていた。総合評価で東洋建設が上回った部門は、技術提案、施工計画、配置予定技術者の同種工事の経験件数で選定に至った。

○戎野議員

当初の金額から請負金額が大幅に変更された。町は専門家を交えた委員会をつくり、変更の妥当性をチェックできないか。

○儀野総務企画課長

契約の変更は、町長が決裁し、議決のシステムによるので、審査機関を設ける取り扱いはない。

○中川議員

3回目の入札で成功した経緯を具体的に教えてもらいたい。

○影治町長

入札1回目は、最終期限までに誰もいなかった。2回目は、予定価格を上回ったので不調。3回目は、予定価格を下回り入札有効、総合評価で東洋建設になった。

●討論

○北山議員

運営計画を示し進めるべきで、将来の運営が分からない中では、チェック機能

の議員として責任が持てない。次世代に負の遺産を残さないために反対する。

賛成討論 無し

採決結果

賛成多数で可決
(賛成8..反対3)

議案質疑

◆議案第79号 西新町3号線改良工事請負契約締結

○永本議員

この道路は、日和佐高校グラウンドより低いと思うが、かさ上げはどうするのか。

○儀野総務企画課長

グラウンドより低いので、グラウンドの高さまで持ち上げる工事になっている。

○舛田議員

この計画は、車が入り

できるのか。

○儀野総務企画課長

道路は4m以上で、町道として活用し車も走る道となる。

○戎野議員

用地買収の対象は何力所か。

○儀野総務企画課長

道路に接する2人の土地で、用地交渉も進めている。

●討論

○北山議員

運営計画の無い、日和佐診療所に関係する工事なので反対する。

賛成討論 無し

採決結果

賛成多数で可決
(賛成9..反対2)

◆各議員の賛否 (賛否の分かれた議案) ◆

議長...◎ 賛成...○ 反対...× 欠席...欠

| 議案 | 議員名 | | | | | | | | | | 結果 | | |
|---|------|------|-----|------|------|------|-------|------|-----|------|----|------|------|
| | 舛田邦人 | ◎岩瀬公 | 江本昇 | 北山朝彦 | 川尻竹藏 | 松本晋児 | 永本善次郎 | 寺下博子 | 戎野博 | 向山篤宏 | | 丸龍孝敏 | 中川尚毅 |
| 議案第78号 美波町医療保健センター新築工事請負契約の締結について | ○ | — | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 |
| 議案第79号 都市再生整備計画事業に伴う西新町3号線改良工事(第1分割)請負契約の締結について | ○ | — | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 |

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。(過半数議決の場合)

◆ 各議員の出欠状況（平成27年9月定例会～平成27年12月定例会） ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…ー

| 日付・会議等 | | 議 員 名 | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|
| | | 舩田 邦人 | 岩瀬 公 | 江本 昇 | 北山 朝彦 | 川尻 竹藏 | 松本 晋児 | 永本 善次郎 | 寺下 博子 | 戎野 博 | 向山 篤宏 | 丸龍 孝敏 | 中川 尚毅 |
| 9月11日 | 文教厚生委員会 | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | △ | △ | ○ |
| 14日 | 議員研修 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 16日 | 総務産業建設委員会 | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | △ |
| 16日 | 文教厚生委員会 | ー | ○ | ○ | ○ | △ | ー | △ | ○ | ○ | △ | ー | ○ |
| 10月 6日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 14日 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 19日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | ○ | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 20～21日 | 町村議会広報研修会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | × | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 22日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 23日 | 四国地区町村議会研修会（徳島市） | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 26日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 27日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 30日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 30日 | 平成27年第1回美波町議会臨時会 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 30日 | 議会運営委員会 | △ | △ | ○ | ー | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 31日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 11月 2日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 4日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 5日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 6日 | 議会広報特別委員会 | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 19～20日 | 国土交通省・財務省要望活動、 視察研修 | ○ | △ | ー | ー | ○ | ○ | ○ | ー | ー | ○ | ○ | ー |
| 28日 | 議会広報特別委員会 報告会（由岐地区） | ー | ー | ー | × | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 29日 | 議会広報特別委員会 報告会（日和佐地区） | ー | ー | ー | ○ | ー | ー | ○ | ー | ○ | ー | ー | ○ |
| 30日 | 議会運営委員会 | △ | △ | × | ー | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 30日 | 総務産業建設委員会 | ○ | △ | ー | ー | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | △ |

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

一般質問

一般質問では、財政問題・農山漁村交流事業・防災対策・救急体制・病院問題・住宅改修助成制度・テレビ中継の促進など、7人の議員が町の考えを質しました。

①町財政の展望は

弁 借金は、約76億円で償還のピークは平成33年頃である



議員 松本 晋児

質問

町立病院・保健センター等を建設する経費で本年度の予算は、80億円を超えるが、10年から20年後にどれぐらいの予算規模になっているのか。現時点で起債はいくらあって、起債返還の

ピークは何年頃か。また、予算に対して起債は何%を占めるのか。企業誘致などにより、今の町税を7%から10%程度に出来るような施策を考えてはどうか。

●磯野総務企画課長

大規模事業がなければ50億円前半が町の予算規模と考えている。起債は平成26年度末で約76億円であり、起債償還のピークは平成33年頃と思われる。平成27年度の起債は予算の16・8%、

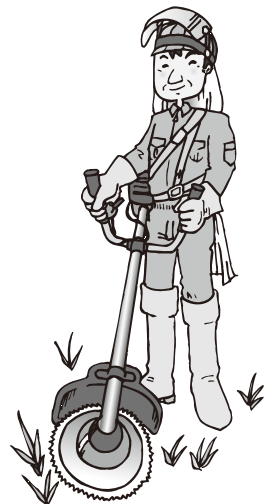
金額は8億4千万円である。人口減少対策としてサテライトオフィス誘致や移住交流施策・産業の活性化などの取り組みを行っており、これは自主財源である町税にも繋がるものと考えている。



美波病院

②高齢者の働く場を

弁 様々なチャンネルを通じ、或いはルートを開拓し可能性を探りたい



質問

定年後に働く場所がなく困っているのが現状である。唯一、町社会福祉協議会がシルバー人材事業を行っているが、月に10日以上働けないことになっている。高齢者の方は殆どが国民年金の受給者であり、月額6万円等での生活では大変である。町内で1日3時間ほどの働く場所を提供できないか。

●小坂産業振興課長

海部郡3町で組織する南阿波よくばり体験協議会では、中高生の修学旅行や体験学習の民泊を受けており、一人一泊につき6千円の民泊・体験料が支払われている。また、JAかいふでは園芸や畑作の労働力不足対策として、土づくり・耕運・畝立て・種まき・生産管理・収穫・出荷等を分業する実証実験を取り組んでいる。今後、様々なチャンネルを通じ、或はルートを開拓しながら可能性を探ってまいります。

①子ども農山漁村交流事業受け入れの取り組みは

弁 法で義務付けられれば活性化につながる
答 ので取り組みたい



質問

文部科学・総務・農林水産・環境の4省連携で国が進めようとしている「子ども農山漁村滞在型交流事業」を一次産業活性化のひとつの手段として取り入れるべきだと思う。宿泊体験活動等、子どもたちを農山漁村へ送り出す側の教育委員会として、どのように考えているのか。

寺内教育長

子ども農山漁村交流プロジェクト事業について徳島県としてはまだ実施していないと聞いている。今後、



ドローンで空撮した大浜海岸

国が法律に基づいて子ども農山漁村体験を義務付けるということになれば、本町の自然や文化、一次産業を活用し推進することは農山漁村の活性化に繋がると思う。教育委員会としても所管業務として取り組むべきところは、しっかりと取り組んで行きたい。

②ドローンを防災対策に活用すべき

弁 ドローン特区那賀町の実証実験を見ながら取り組みたい
答 ら取り組みたい

質問

「空の産業革命」と言われるドローンを防災対策に活用すべきと思う。町の取り組みを聞きたい。

近藤消防防災課長

徳島県では、平成27年5月に無人航空機活用検討会を立ち上げた。災害発生時

の状況把握、孤立集落への緊急物資の運搬などの活用を考えている。今後、県やドローン検討会、那賀町などの調査をもとに、関係機関とも協議を進め有効利用、住民の理解を求めて設置について検討したい。



ドローン調整中の住民

関心を持っている。ドローン特区那賀町の実証実験を見ながら、防災対策・産業振興に活用できるよう、推移を見ながら取り組みたい。

③玉厨子農村公園の利用方法を示せ

弁 地元と相談しながら探りたい
答

質問

国道55号から300mの進入路を経て約1ヘクタールの人工高台が眠っている。活用方法を示してほしい。

近藤消防防災課長

玉厨子農村公園の利活用について今後地元とも相談しながら利用方法を探っていくきたい。

①道の駅ひわさ西側山林開発の進捗状況は

弁 高台整備基本測量設計業務は
答 今年度完了予定である



議員 向山 篤宏

いる。高台整備基本測量設計業務事業の進捗状況としては、測量調査・地質調査

はすでに終了し、今後子ども園の保護者に対するアンケート結果を反映させ年度内に完了させる予定である。その後は、地権者の協力、財政面も考慮しながらこの事業を進め、安全なまちづくりに努めたい。

②公民館修繕費の地元負担は軽減できないか

弁 他の施設等との整合性をふまえて
答 検討したい

質問

宅地等開発については過疎を食い止める施策として最重要である。市内高台整備検討ワーキンググループにおける検討状況はどうなっているか。また、多目的な利用を目的に整備を進めている「道の駅ひわさ」西側山林開発の進捗状況はどうか。

●影治町長

市内各課で組織する高台整備検討ワーキンググループは、防災公園、子ども園等の高台移転等を行うべき機能施設について検討して

質問

公民館の修繕費は指定管理受託者に大きな負担となつている。建つてから年数が経過し今後、修繕の機会も増え、ますます、地域に負担がかかると思うが、いま30万円まで地元負担となつている修繕費は軽減出来ないか、また、新しい負担制度が考えられないか。

●住田社会教育課長

指定管理委託契約協定書は、修繕費の30万円を超える部分は町が負担となっており、疑義が生じた場合は協議している。修繕費が地域に負担が掛かっているという現状があるので他の施設や他の制度との整合性をふまえて検討したい。

③防災対策としてのオートバイの配備、また災害対策本部と避難場所との通信機器の導入は

弁 オートバイの導入は検討したい、また、通信機器は種々協議しながら導入を検討したい

質問

地震や風水害により、土砂崩れや倒木により通行止めとなる場合に、二輪車であれば被災状況の把握も可能になり、その対応も早くなると思うが、オートバイの整備は考えられないか、また災害対策本部と孤立した避難場所との通信の確保については、町が責任をもつて整備すべき事項だと思ふ。

場所の状況などを災害対策本部が把握し対応するため、の施策が必要であるが、現在、役場等が使用している携帯型無線機は、町内放送の受信、消防団との相互通信等に有用であるため運用方法などを自主防災会等と協議しながら導入を検討したい。

●近藤消防防災課長

オートバイは土砂崩れや道路の崩壊、陥没等の場合、情報収集には有効な手段であると思うが、危険性もあることから、その必要性を危機管理プロジェクトの中で検討したい。また、避難



① 安心安全の観点から、町の救急体制はどのようになってきているのか

弁 医療行為のできない搬送班と、メディカルコントロールのできる消防救急の二つあり、最も急を要する「脳疾患」と「心疾患」のためヘリポートの整備を進めている



議員 北山 朝彦

質問

私は、脳卒中を発症したが、徳島県の示す応急手当・病院前救護心得どおり、治療開始まで3、5時間以内で、大体うまく運んだ。今後、脳卒中発症の増加が予想される時、町の体制は常時同じように事が運ぶようになってきているのか、安心安全のまちづくりの観点からお聞かせ願いたい。

●影治町長

美波町の救急搬送の現状は、海部消防が行う分と、

搬送班で行うものが重なっている。救急行為で、搬送班は医療行為はできず、海部消防はメディカルコントロールができ消防隊員の判断で病院を選び搬送する等を承知している。

質問

町長は、海部消防の管理者でもあるので、美波町民及び海部郡民が、脳卒中等の場合、早い処置で症状の軽い状態で終われるよう検討してもらいたい。

●影治町長

一番急がれるのは、脳疾患と心疾患と聞いている。夜間飛べない難点はあるが、ヘリポートを整備し救急の方を運べる体制整備をやっているところだ。

② 美波病院を阿南・那賀・海部の「要リハビリ患者」の受け皿になる病院にすれば、経営の安定と雇用の増大が見込めると思うが町長の考えは

弁 提案はありがたい、総合病院として完成しているので直ちには提案に対応できないが、できる限り与えられた規模の中で頑張りたい

質問

今回、回復期リハビリテーションの効果と重要性を身をもって体験した。そこで、「美波町立病院整備方針」にある回復期リハビリテーション実施の規模を、県南部、阿南・那賀・海部の要リハビリ患者の受け皿にすべきと思うが町長の考えは。また、新病院の医師の内容を説明願いたい。

●影治町長

医師は男性3人。1人は、徳島大学病院から週3日派遣。1人は内科医、今由岐病院で2日勤務が美波病院開院後は週3日勤務になる。1人は、脳神経外科医、2週間に1回の勤務してもらえ。現有の医師と合わせると、整備計画の中の医師5人は何とか確保できたと考えている。

●橋本特定事業調整監

由岐病院でのリハビリテーションは、美波病院に継続実施していく。ただ、診療報酬上の基準で、専門医の有無・理学療法士の人数・施設整備等により、行

質問

美波病院を、阿南・那賀・海部の要リハビリ患者の受け皿になり得る規模にすること、

- ① 病院経営の安定化が見込める。
- ② 理学療法士の雇用の場が見込める。
- ③ 地元の子供たちで理学療法士を育成すれば地元雇用が生まれ定住も見込めると思うが、考えをお聞かせ願いたい。

●影治町長

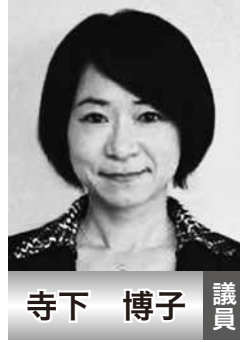
議員の提言はありがたいが、美波病院は、既に完成している。また、新病院は総合病院となっており、リハビリ部屋の広さも診療報酬がもらえる最低限の広さで、議員の提言に対応できるものではないが、できる限りの規模の中で頑張りたい。

③ 本庁舎に障がい者トイレを設置できないか

の質問がありました。

①地域おこし協力隊の現状と今後の方向性は

答 弁
 地域を担う人材の確保には有効な手段であり、問題解決・課題解決に特化した専門能力を持つ人材の受け入れにも取り組みたい



議員
寺下 博子

で活動中。定住に至った隊員はいない。

②これまでとの違いは、財源が特別交付税ではなく地方創生先行型交付金であること、受け入れ団体が町であることの2点で、他は従来の制度と同じ。町としてのサポート体制は、現在月一回の情報交換会を実施しているが、今後は、国の方向性でも地域おこし協力隊員の起業に要する経費の支援制度や本町の小規模企業支援制度等の情報提供や他市町村のサポート体制を情報収集しながら、一人でも多く定住していただけるような環境づくりに取り組みたい。

①平成23年度から実施されている本事業の状況は。
 ②10月に地域創生事業としてサテライトオフィス誘致促進に特化した地域おこし協力隊の方が委嘱された。これまでの募集要項と今後の方向性に相違はあるのか。
 ③今後、本町のさまざまな課題解決に特化した専門能力を持つ人材の受け入れも、併せて考えてはどうか

●磯野総務企画課長

①現在までに13名の地域おこし協力隊員を委嘱しており、現在5名の隊員が町内

③多様な考えのもとで柔軟な対応を行い、本町の問題解決・課題解決に特化した専門能力を持つ人材の受け入れに組みみたい。

●影治町長

③多様な考えのもとで柔軟な対応を行い、本町の問題解決・課題解決に特化した専門能力を持つ人材の受け入れに組みみたい。

②美波病院と医療保健センターの事業進捗状況は

答 弁
 交通手段の確保については、美波病院と日和佐診療所及び由岐支所間を、10人乗りのワンボックスカーで定時運行する予定である。病院開院の3月1日から実施予定で、直接雇用の方向で考えている

質問

①現在の進捗状況と、今後のスケジュールは。

②美波病院開院時、患者の不安解消とサービス向上のために、病院コンシェルジュの配置を強く要望したいと思うが、それらの検討はされているか。

③搬送班のあり方については、12月中に方向性を出すと以前に示されているが、現状はどうか。

④交通手段の確保について、検討の進捗状況は。

●橋本特定事業調整監

①美波病院本体工事については、12月21日に完了検査、22日に建物の引き渡しを行う予定。現在、病院スタッフや外来・病棟・検査などのシミュレーションや診

療動線確認・電子カルテ導入に向けた協議・研修などを日々行っている。落成式は2月15日に予定し、式典・関係者への内覧会を行い、一般の方への内覧会も予定している。

医療保健センターについては、12月14日に再入札を行う予定で、工事完成は平成29年3月。その後日和佐診療所の移転・開所については、1ヶ月から3ヶ月の準備期間を要すると考えている。

②病院事業は、企業会計・独立採算のため、経営面も精査し、運営を行う必要性があることから、現在コンシェルジュの配置については検討していない。

●山路副町長

③あり方検討委員会におい

て、これまでに4回の会合を開催し検討した結果について、12月7日に町長に報告した。平成28年度は現在の搬送体制を維持し、平成29年度は現状維持が困難となるため、引き続き協議することとしている。

●影治町長

③平成28年度は現状を継続するが、今後も検討し、平成28年度の前期には議会に方向性をお示ししたい。

●磯野総務企画課長

④交通手段の確保については、美波病院と日和佐診療所及び由岐支所間を、10人乗りのワンボックスカーで定時運行する予定である。病院開院の3月1日から実施予定で、直接雇用の方向で考えている。

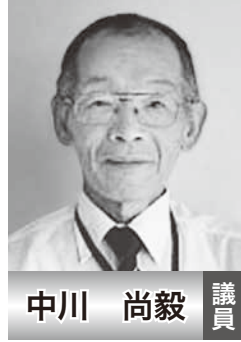
③児童、生徒の読書活動の推進を

答 弁
 今後、さらに学校図書室の充実が図られるよう、学校と相談しながら各校の実情に合わせた支援の取り組みを検討したい

の質問・答弁がありました。

① ジェネリック医薬品について 説明会を開け

答 弁
個別に説明する



議員 中川 尚毅

質 問

診療所は特定疾患療養管理料（3割負担は240円、1割は80円）が患者の負担になる。美波病院でジェネリックは使えないとなると問題であり、ジェネリック・交通手段など町民の間には不公平感、疑問、不安などがあるので、説明会を開いてもらいたい。その予定はあるか。

●橋本特定事業調整監

特定疾患管理料は、病状によって変わる。全ての投薬をジェネリックにはできない。説明会は考えていない。

「美波町立病院整備方針」

では、1日の入院患者43人、外来患者を105人で試算を行うと、28年度は総収益7億4700万円、総費用7億9400万円、4700万円の損失。以後、医療機器の減価償却が終了する平成33年度まで5000万円弱の損失が続く見込み。適切な資金管理に努め、医師の確保やリハビリ技術など医療スタッフの充実をはじめ、魅力ある病院づくりを行い、健全な病院経営ができるよう努めたい。

質 問

説明会をするのか、町長に答えてもらいたい。

●影治町長

住民及び議員の質問に答えられる知識のある職員がいらない。特定疾患管理料に

② 住宅リフォーム助成制度の経済効果は

答 弁
経済効果はある

質 問

「住宅リフォーム制度」の実施状況、実績とその経済効果について聞きたい。

●近藤消防防災課長

美波町では、個人の住宅を対象に、耐震化を前提とした事業を実施。

「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業」と「美波町耐震改修支援事業」の2つがある。

（下の表参照）

| | 県 補 助 | 町 補 助 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| 住まいの安全・安心な リフォーム支援事業 | 事業費の1/2 上限40万円 | 事業費の1/4 上限20万円 |
| 美波町耐震 改修支援事業 | 事業費の2/3 上限60万円 | 事業費の1/6 上限30万円 |
| 木造住宅簡易耐震 補強費補助金 | 事業費の1/2 上限50万円 | |

質 問

この事業実績は、25年度が5件、26年度が2件。経済効果としては、地域材を活用すること、町内の工務店や大工さんに発注をしており、いくらかの経済効果はある。

今ある商店などの小規模企業を存続させ、中小零細企業、商店を元気にする施策が必要と思うが町の考えはどうか。

●小坂産業振興課長

サテライトオフィスとは違う小規模事業の起業支援制度を昨年設けており、2年目でその支援が合計5件。小規模事業起業支援制度につき、内容を見直して、起業を対象に、要綱の改正をしている。

第3者で事業を引き継いでもらう。由岐地区で牛乳販売業が継業の対象になるのか審査して採択した。予算を有効に使い既に制度を動かしている。

①行政情報、議会テレビ中継化を促進すべき

弁 まだ研究を重ね、議会でも意見調整してほしい



議員 博 戎野

政・議会情報を中継配信していくのか。

●影治町長

議会テレビ中継化の早期実現の要請書を委員会中間報告ということで6月26日に頂いた。議会委員会意識統一されて進めると思っていたが「今すぐ進めるのは躊躇する」という委員もあり、十分な集約が出来ていないのではないかとという点と経費と人員がどれだけ掛かるか示されていないので、まだまだ、研究を重ねたほうが良いと思う。議会での意見調整をして頂きたい。

質問

「地デジ光ケーブル設備を有効利用した議会及び町政広報のテレビ中継化」の決議が可決（平成21年6月議会）されてから6年余りが経つ。町民からの促進要望書を受け、中継化特別委員会を立ち上げ、東みよし町、那賀町の先進地視察も重ね、ケーブルテレビ徳島とシステム概要及び予算等についても検討してきた。商工会への議会報告会においても中継化が進まない理由、実施時期等の質問が出されたが、調査費計上の目途は、また、どのような行

設備及び情報配信内容の検討のために、職員の複数配置をするべきではないか。インターネットによる町ホームページ上での議会録画配信から実況中継を試

行的に進めてはどうか。今後のテレビ配信への目途は、システム構築への調査と予算を計上してほしい。

●影治町長

徳島県内のインターネット中継は4市5町でケーブルテレビによる行政・議会情報は3市3町が流している。設計にかけなくても見積もりも取れるし議会の委員会でもやってくれると思っていた。町と議会の中で進

②地震津波への防災・減災施策としての事前復興対策の取り組みを

弁 避難タワーの拡充は進める。臨時災害救護員の条例化は慎重に検討する

質問

計画中（奥河・東町旧中学校跡）の避難タワー（避難ビル）の建設・改築（日和佐浦）予定の構造を二次避難場所にも使える避難ビルとして建設拡充をしていくべきではないか。

●近藤消防防災課長

津波避難タワーの整備計

めようという話にならないと予算計上も設計がわかっていないと無駄になる。検討する時間が必要だ。



那賀町のテレビ中継システム

画は東町地区、戎町地区、奥河地区（基本設計完了で用地交渉へ）で進める。避難ビルは県水産研究所（3階）建設（平成29年3月完成予定）を備蓄、避難ビルとして活用が出来る。

質問

木造住宅密集地域の防災、延焼防止対策（火災報知器、

家具転倒防止金具等への補助）避難道路の取り組みは。

●近藤消防防災課長

避難路、延焼遮断幹線道路として都市計画道路の整備、耐震化の促進、老朽住宅解体費支援事業等による空き家除去で延焼防止対策を進める。転倒防止金具や感震ブレーカー設置助成は自助努力でして頂きたい。

質問

災害時、救援のための地元民による「期間限定・救援臨時職員」任命の制度作りによる『事前復興対策』を準備できないか。

●山路副町長

「期間限定臨時災害救護員（仮称）」の条例化は災害時に相互応援協定の一例として特定非営利活動法人AMADA（医療支援団体）と被災者の医療分野での支援を頂けることとなっている。期間限定で臨時的に公務員を任用するのは慎重に検討する必要がある。

町に伝え聴く

議会広報特別委員会が
11月28日に 由岐公民館、
11月29日に 日和佐公民館で
議会だよりについて説明会を開催しました。

それぞれの会場で
出された意見や質疑に対する回答を紹介します。



由岐公民館

平成27年11月28日

| 意見 | 回答 |
|--|---|
| 災害時に各自主防災会が使う通信機は、町が配備すべきではないか。 | 避難場所から災害対策本部への通信用に、携帯型行政無線を年次計画での配備を検討中。(消防防災課) |
| 二次避難所に通信機を置くことを、町長は検討すると答えているが、その後どんな検討をしたか。 | 地区内で使用する省電力デジタル無線機は、補助金を活用して各自主防災会で購入して欲しい。(町長) |
| 町の職員が防災関係の講演会などに参加したら、その内容を回覧板で周知してほしい。 | 現在のところその予定はない。(消防防災課) |
| 町営住宅、町民税や固定資産税、水道料などの未収金があるが、解決してほしい。 | 各担当課で滞納者の情報共有を行うとともに、不公平が生じないよう法的手段を講じることとし厳正に対応する。(町長) |
| 説明会に全部の議員が出てきて、話を聞いてほしい。 | 議員個人の意思に任せている。(議会) |
| 70才以上の方が老人ホームに入った場合、本人負担以外はどこが払うのか。 | 養護老人ホームの入所対象は、原則65歳以上で、本人負担を除いて町が負担。その財源は普通交付税で措置する。(保健福祉課) |
| 木岐小学校が休校になるが、町費で記念誌をつくるということを知らない人が多い。一部の人だけでやっている。記事や写真など公募すべきだし、みんなにオープンに知らせるべき。 | 記念誌の作成は休校準備委員会で検討、掲載写真は学校保有の写真と住民提供写真を使用。公募するといろいろ問題があるので公募できない。(教育委員会) |

住民の生の声を、



日和佐公民館にて

日和佐公民館

平成27年11月29日

| 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 水道料金を始め使用料の悪質な滞納者への徴収体制はどうなっているのか。 不納欠損の状況は。 徴収について監査委員と担当課長の食い違いは。 | <p>監査時に報告しており、不納欠損はしていない。古い分から納入している。(住民生活課)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 当初、病院と診療所合わせて建設費17億円(土地代別)見込みが、病院(約28億)診療所(15億)と高騰した理由は。 診療所経営は赤字にならないのか。また外来患者の試算は。 ジェネリックの使用はどのようになるのか。 診療所に設置される玉真病院の電気代等の賃貸借は。 院内処方、院外処方はどうなるのか。 | <p>社会経済状況の変化に伴う労務費、資材単価の上昇、協議に伴う構造の変更や所要室の変更による。(総務企画課)</p> <p>診療所は試算中。ジェネリック薬の使用は、医師の判断による。玉真病院の電気代は、玉真病院負担。 美波病院は基本的に院内処方とし、日和佐診療所は当面院外処方の予定。(総務企画課)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 委員会の記録、決算書類など各町内会掲示板に置いて、見れるようにしてほしい。 | <p>意見を受け、図書館・図書室及びホームページで閲覧できるよう条例改正を提案したが否決(詳細は2ページ参照)。(議会広報特別委員会)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例への取組は進んでいるのか。止まっているのではないのか。 | <p>議会広報特別委員会で素案を作成中。(議会広報特別委員会)</p> |

「あの答弁、ほのあとどないなっとな!?!」



議会だより第 37 号（平成 27 年 6 月定例会）



| 質問議員 | 答 弁 | 現状と質問者の思い等 |
|------|--|---|
| 川 尻 | (空家対策特別措置法) 危険家屋の現状把握には至っていない。 | 危険家屋の現状把握は、平成 28 年度調査を実施する予定である。 |
| 中 川 | (若者住宅の家賃) 年齢の高い方には、住み替えの検討を促すため考えない。 | 変わりなし。 困難な住宅状況を改善させたい。 |
| 永 本 | (サンライン風景海道) サンライン活性化協議会の議論を見ながら県や牟岐町等と協議したい。 | 風景海道活用は本町が主体性をもって取り組むべきである。今後、町の姿勢を続けて質していきたい。 |
| 畑 田 | (人口減少対策) 町内の英知を集め、総合戦略 5 力年計画を策定する。 | 現在 7,300 人。20 年後は、4,000 人台になるでしょうが、4,000 人台のまちを想像して下さい。 |
| 丸 龍 | (高台開発の進捗状況) 6 月議会で基本設計委託料を計上している。 | 発注し測量・地質調査が終了、設計をしている。日和佐こども園の保護者等を対象にアンケート調査を実施し、その結果等を参考に進める。 |
| 寺 下 | (教育環境) 国際交流事業として、中学生のケアンズ市への派遣を継続的な活動とする。 | 平成 28 年度も前回と同規模程度の事業として計画している現状。美波町ならではの教育環境充実のため、継続して取り組んでほしい。 |
| 向 山 | (地方創生法) チャンスとして捉え、あらゆる施策に取り組む。 | 平成 27 年 10 月に策定した美波町総合戦略にもとづき随時施策に取り組んでいく。 |
| 戎 野 | (マイナンバー制) 安全に利用できるよう周知と管理を図る。 | 法令等に基づき適正に進める。個人カードの発行枚数は 0 枚である。情報漏えいは必ず起こるので縮小すべきだ。 |
| 北 山 | (人事評価) 人事評価に関しては、企画・事務・研修あらゆる面にわたり重く正確な準備が必要であり、10 月からの試行を目指し準備を進め結果を 2 月ごろ判断し、平成 28 年 4 月からスタートしたい。 | 昨年 10 月の試行には至らなかったが、4 月からの実施に向け運用マニュアルは、ほぼ策定出来たとの報告。職員の事務的ミスが多発しているので、人事評価の実施に期待する。 |

「房州びわ」活用で集客事業を創出

総務産業建設委員会
活動報告

●道の駅富浦・枇杷倶楽部（千葉県）視察（平成27年11月19日）

特産の「房州びわ」を活用した加工事業と商品開発、体験型観光農場、南房総の広域産業資源を活用した新たな集客交流事業の創出を目指している。

①オリジナル商品の開発（加工品開発、ブランド化）大量に発生するびわの規格外品（約30%）を活用して新商品（50品目）を開発した。



賑わう道の駅

②小規模な民宿や生産者にビジネスチャンスを与える。

③夏型観光（海水浴）から、体験型観光（びわ狩り・花摘み・イチゴ狩り）で冬にも観光客を受け入れるよう工夫した。

●国土交通省への要望活動

（平成27年11月20日）

阿南安芸自動車道の早期整備四国横断自動車道の早期完成の陳情書を提出。

参加者9人（町長・議長・副議長・総務委員長・総務副委員長・委員）

住民から一言

「これでいいのだろうか？」
議会と住民の関係！

井筒宗武

議員は、直接選挙で住民の付託を受け、その声を代弁する権能を持つ。従って議員が判断を間違えると、住民の意向と全く相反する結果になる可能性もある。議員はこのことをしっかり胸に受け止めて正しい判断をして頂きたいと思う。先般の全員協議会で議長は傍聴者の退席を促した。私は後日秘密会と思い、その理由と賛否の状況を確認するため、会議録の公開を請求したところ、会議録は存在しないとのことであった。議会の会議は原則公開である。特例として秘密会にする場合は、定められた手続きに従い、記録を取ることになっている。今度の報告会が秘密会でないとすると、議員には守秘義務がない。今度の案件はそう遠くない日に住民の知るところとなる筈だ。議会不信を招かないためにも十分に検討すべき問題とと思う。

住民の皆さんのご応募をお願いします！

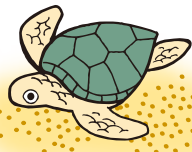
- ①掲載写真（表紙等の写真）・撮影場所
 - ②「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
 - ③住所・氏名は掲載します。
- ※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。



お問い合わせ・投稿される方は、議会事務局 ☎ 77 - 3630
E-mail : gikai@town.minami.lg.jp までご連絡下さい。

お詫びと訂正

議会だより38号の14ページ、北山議員の一般質問二段落目の「団長からの報告」とあるのは、「課長からの報告」の間違いでした。訂正してお詫びします。



頑張る人!!

地域の魅力を掘り起こせ



海の恵みの新たな販売ルートを開拓 (美波の海の恵み研究会)

私達は 2011 年 8 月、衰退・低迷が続く漁業の打開策を探るため、漁業組合、県・町、徳島大学の産官学連携で研究会を発足し、海藻養殖に挑戦してきました。

今回、縁あって(株)機能性食品開発研究所と業務提携を結ぶこととなり、5年間の活動が、一つ実を結んだと感じています。

今後も関係機関と連携し町の基幹産業である漁業に、魅力を感じてもらい、活気が戻ればと思っています。

会長 兵庫 賢美 (東由岐)

編集後記

病氣療養中、皆様にご迷惑をおかけしましたが、病院経営や議会運営など色々な事を勉強する機会になりました。この経験を基に、より良い広報作りに努めたいと思います。

さて昨年末、議会が認定した決算書の内容に「間違いがあった」との重大な報告を、法的根拠のない議会の場で受けました。そこで、私は、住民に議会を正確に知らせるために、法令順守する議会にしたいと思います。

(編集委員長：北山 朝彦)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：北山 朝彦

副委員長：永本善次郎

委員：戎野 博・中川 尚毅